持帰り厳禁

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで
一切開かないでください。

令和８年度

第 二 種 販 売　　法 令 試 験 問 題

KX

試験時間　9:30 ～ 10:30

〔注意事項〕

1. **配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。**
2. 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
3. 解答は、各問題の下に掲げてある (1) ～ (5) の解答選択肢の中から、**最も適切なものを一つ選び、答案用紙に記入**してください。
   1 問につき二つ以上の解答を選択し、答案用紙に記入した場合には、その問については 0 点になります。
4. 採点はコンピュータで処理しますので、答案用紙にマークする場合には、枠いっぱいにはみ出さないように黒く塗りつぶしてください。
5. 筆記用具は、**鉛筆又はシャープペンシル（ＨＢ又はＢ）以外使用できません。**
6. 訂正する場合は、**消しゴムでていねいに消してから訂正**してください。
7. **問題の内容に関する質問にはお答えできません。**
8. 試験開始後、30 分間は退室できません。
9. **この問題用紙は回収します。**途中退室する方は退室時に、最後まで受験する方は試験終了時に答案用紙と併せてこの問題用紙を提出してください。

①受験番号の下４桁が「0001～1999」及び「5001～5999」の方は「全問（問１～問 20)」を受験してください。
②受験番号の下４桁が「3001～3999」及び「7001～7999」の方は「高圧ガス保安法に係る法令に関する問題（問１～問 10)」を受験してください。
③受験番号の下４桁が「2001～2999」及び「6001～6999」の方は「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に係る法令に関する問題（問 11～問 20)」を受験してください。

二販(法)KX

問１から問 10 までの問題は、高圧ガス保安法に係る法令に関するものです。

問１から問10までの各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えを選択肢の中から一つ選びなさい。

なお、この試験は、次による。

(1) 令和８年４月１日現在施行されている高圧ガス保安法に係る法令に基づき出題している。

(2) 経済産業大臣が危険のおそれがないと認めた場合等における規定は適用しない。

(3) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問１ 次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のため、高圧ガスの製造、貯蔵、販売及び移動を規制することのみを定めている。

ロ．収容定員300人以上である劇場は、液化石油ガス保安規則に定める第一種保安物件である。

ハ．圧力が 0.2 メガパスカルとなる場合の温度が 35 度以下である液化ガスは、現在の圧力が 0.1 メガパスカルであっても、高圧ガスである。

(1) ロ　(2) ハ　(3) イ、ロ　(4) ロ、ハ　(5) イ、ロ、ハ

問２ 次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．第二種貯蔵所の所有者又は占有者は、貯蔵所ごとに帳簿を備え、その第二種貯蔵所に異常があった場合には、異常があった年月日及びそれに対してとった措置をその帳簿に記載し、これを記載の日から10年間保存しなければならない。

ロ．車両に積載した容器により高圧ガスを貯蔵することは、特に定められた場合を除き、禁じられている。

ハ．液化石油ガスを充塡容器及び残ガス容器により貯蔵する場合は、そのガスが漏えいしたとき拡散しないように通風の良い場所でしてはならない。

(1) イ　(2) ロ　(3) イ、ロ　(4) イ、ハ　(5) イ、ロ、ハ

問３ 次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．販売業者は、新たに販売所を設けた場合、軽微な変更として、その販売所における高圧ガスの販売の事業開始後遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出ればよい。

ロ．販売業者は、その販売の方法を変更したときは、その旨を都道府県知事等に届け出なければならないが、その販売の事業を廃止したときは、その旨を届け出なくてよい。

ハ．容器に充塡された高圧ガスの輸入をした者は、その高圧ガス及び容器について都道府県知事等が行う輸入検査を受けた場合、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められた後、これを移動することができる。

(1) ロ　(2) ハ　(3) イ、ハ　(4) ロ、ハ　(5) イ、ロ、ハ

問４　高圧ガスを充塡するための容器(再充塡禁止容器を除く。)及びその附属品に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．液化石油ガスを容器に充塡する場合は、その容器が容器検査を受けた後、所定の期間を経過したものにあっては、容器再検査を受け、これに合格し、かつ、所定の刻印又は標章の掲示がされたものでなければならない。
ロ．容器の廃棄をする者は、その容器をくず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならないが、容器の附属品の廃棄については、同様の定めはない。
ハ．液化石油ガスを充塡するための容器に、所定の刻印がされているバルブが装置してあることは、その容器に液化石油ガスを充塡することができる条件の一つである。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問５　高圧ガスを充塡するための容器(再充塡禁止容器を除く。)に関する次の記述のうち、容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．最大充塡質量(記号　TW、単位　キログラム)は、容器検査に合格した液化石油ガスを充塡するための容器に刻印等をすべき事項の一つである。
ロ．容器検査に合格した液化石油ガスを充塡するための容器には、その容器の耐圧試験における圧力(記号　TP、単位　メガパスカル)及びMの刻印等がされている。
ハ．容器に充塡することができる液化石油ガスの質量は、次の式で表される。

$$G=\frac{V}{C}$$

G：液化石油ガスの質量(単位　キログラム)の数値
V：容器の内容積(単位　リットル)の数値
C：容器保安規則で定める定数

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問６　特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の液化石油ガス(液化石油ガスを燃料として使用する車両において、その車両の燃料の用のみに消費される液化石油ガスを除く。)の消費に係る技術上の基準に関する次の記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．液化石油ガスを消費した後は、バルブの損傷を防止する措置を講じなければならない。
ロ．焼却炉の燃料のための消費施設であって、液化石油ガスの貯蔵設備の貯蔵能力が 1000 キログラム未満のものには、所定の場所に液化石油ガスの漏えいを検知し、かつ、警報するための設備を設けるべき定めは、適用されない。
ハ．消費設備(特に定めるものを除く。)の修理を行うときは、あらかじめ、その作業計画及び作業の責任者を定めなければならない。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問７　車両に積載した容器(内容積が25リットルを超えるもの)による液化石油ガスの移動に係る技術上の基準等に関する次の記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．突出したバルブのある充塡容器及び残ガス容器には、固定式プロテクター又はキャップを施さなければならない。
ロ．液化石油ガスの充塡容器は、特に定めるものを除き、移動中に常に温度40度以下に保たなければならない。
ハ．液化石油ガスを車両に積載した容器により移動するときは、その液化石油ガスの質量が 3000キログラム以上の場合であっても、移動監視者にその移動について監視させるべき旨の定めはない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問８　次の記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．液化石油ガスの廃棄を継続かつ反復して行うときは、液化石油ガスの滞留を検知するための措置を講じなければならない。
ロ．特定高圧ガス消費者に係る液化石油ガスの消費施設の減圧設備の外面から第一種保安物件に対して有すべき第一種設備距離は、その減圧設備に接続する貯蔵設備の貯蔵能力から算出される。
ハ．販売業者が販売する液化石油ガスを購入して消費する者に、所定の方法により、災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、周知させるべき時期は、「販売契約を締結したとき及び周知をしてから２年以上経過して液化石油ガスを引き渡したときごと」である。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問９　液化石油ガスの販売業者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．第二種販売主任者免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスの製造に関する６か月以上の経験を有する者を、その販売所の販売主任者に選任することができる。
ロ．液化石油ガスの充塡容器又は残ガス容器の引渡しは、その容器の容器再検査の期間を６か月以上経過していないものであり、かつ、その旨を明示したものをもって行わなければならない。
ハ．選任していた販売主任者を解任し、新たに販売主任者を選任した場合には、その新たに選任した販売主任者についてのみ、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問10　販売業者が質量1.5キログラムを超える液化石油ガスを容器(液化石油ガスを燃料として使用する車両に固定した容器(その車両の燃料の用のみに供するものに限る。)を除く。)により貯蔵する場合、貯蔵の方法に係る技術上の基準に関する次の記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．質量10キログラムの液化石油ガスを充塡することができる容器であっても、充塡容器と残ガス容器にそれぞれ区分して容器置場に置かなければならない。
ロ．一般複合容器であって、その容器の刻印等に示された年月から15年を経過したものを、液化石油ガスの貯蔵に使用してはならない。
ハ．容器置場には、携帯電燈を携えて立ち入ってはならないと定められている。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問11から問20までの問題は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に関するものです。

問11から問20までの各問について、液化石油ガス法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えを選択肢の中から一つ選びなさい。

なお、この試験は、次による。

(1) 令和８年４月１日現在施行されている液化石油ガス法に係る法令に基づき出題している。

(2) 経済産業大臣が危険のおそれがないと認めた場合等における規定は適用しない。

問11　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．液化石油ガス法は、一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス器具等の製造及び販売等を規制することにより、液化石油ガスによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にし、もって公共の福祉を増進することを目的としている。
ロ．「一般消費者等」には、船舶内で液化石油ガスを飲食物の調理のための燃料として業務の用に供する者は含まれない。
ハ．「供給設備」とは、液化石油ガス販売事業の用に供する液化石油ガスの供給のための設備(船舶内のものを除く。)及びその附属設備であって、定められたものをいい、屋外式燃焼器はその一つである。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問12　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．２の都道府県の区域内に販売所を設置して液化石油ガス販売事業を行おうとする者は、それぞれの販売所の所在地を管轄する都道府県知事の登録を受けなければならない。
ロ．保安機関は、液化石油ガス販売事業者の販売する一般消費者等に係る保安業務の委託を受けた場合、その委託を受けた液化石油ガス販売事業者ごとに、その保安業務に関し所定の事項を記載した帳簿を備え、記載の日から所定の期間保存しなければならない。
ハ．保安業務を自ら行っている液化石油ガス販売事業者は、その販売する液化石油ガスによる災害が発生するおそれがある場合において、その液化石油ガスを消費する一般消費者等からその事実を通知され、これに対する措置を講じることを求められたときは、速やかにその措置を講じる保安業務を行わなければならない。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問13　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．貯蔵施設は、第一種保安物件に対し所定の鉄筋コンクリート障壁等を設けない場合、その外面から第一種保安物件に対し第一種施設距離以上の距離を有しなければならない。
ロ．充てん設備を用いて供給設備に液化石油ガスを充てんしようとする者は、充てん設備ごとに経済産業大臣の許可を受けなければならない。
ハ．供給設備の貯蔵設備が容器であって、貯蔵能力が3000キログラム以上のものには、特定供給設備の技術上の基準が適用される。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問14　液化石油ガス販売事業者が選任する業務主任者及びその代理者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．業務主任者の定められた職務の一つとして、「液化石油ガス販売事業者がその従業者に対して施すべき保安教育を実施すること。」がある。
ロ．液化石油ガス販売事業者は、その販売する一般消費者等の数に関係なく、販売所ごとに１人以上の業務主任者の代理者を選任しなければならない。
ハ．液化石油ガス販売事業者は、特に定められた事由がある場合を除き、その選任した業務主任者に所定の期間内に、液化石油ガスによる災害の発生の防止に関する所定の講習を受けさせなければならない。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問15　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．保安機関が行う保安業務に係る供給設備の点検は、特に定められた事由がある場合を除き、供給設備の種類ごとに、それぞれ所定の回数で行わなければならない。
ロ．液化石油ガス販売事業者は、販売所ごとに帳簿を備え、液化石油ガスを体積により一般消費者等に販売した場合、所定の事項を記載し、記載の日から２年間これを保存しなければならない。
ハ．高圧ガス販売主任者免状の交付を受けている者は、保安業務である消費設備の調査を行うことができる保安業務資格者である。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問16　液化石油ガスの販売の方法の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．内容積が25リットル以下の容器であって、カップリング付容器用弁を有するものに充てんされた液化石油ガスは、質量により販売することができる。
ロ．供給管若しくは配管又は集合装置の修理が終了したときは、その供給管若しくは配管又は集合装置から液化石油ガスの漏えいのないことを確認した後でなければ使用してはならない。
ハ．充てん容器は、特に定められた場合を除き、供給管若しくは配管又は集合装置に接続しなければならない。

(1)　ロ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問17　液化石油ガスの販売の方法の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．供給設備の充てん容器及び残ガス容器を交換するときは、その容器に係る消費設備の数が一つである場合、特に定められた場合を除き、液化石油ガスの供給が中断することにより使用中の燃焼器から液化石油ガスが漏えいすることのないよう末端ガス栓を閉止する等の措置を講じて行わなければならない。
ロ．液化石油ガス販売事業者は、一般消費者等から液化石油ガス販売契約の解除の申し出があった場合において、その販売事業者が所有権を有する消費設備に係る配管については、特に定められた場合を除き、適正な対価で一般消費者等に所有権を移転しなければならない。
ハ．貯蔵能力が 3000 キログラムのバルク貯槽は、その沈下状況を測定する必要はない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問18　供給設備(特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．貯蔵能力が 2000 キログラムである貯蔵設備は、第一種保安物件及び第二種保安物件に対し所定の鉄筋コンクリート障壁等を設けない場合、その外面から第一種保安物件及び第二種保安物件に対しそれぞれ所定の距離以上の距離を有しなければならない。

ロ．供給管に建物の自重及び土圧による損傷を防止する措置を講じた場合であっても、その供給管を建物の基礎面下に設置することはできない。

ハ．調整器(二段式減圧用一次側のものを除く。)とガスメーターの間の供給管は、その設置の工事の終了後、8.4キロパスカル以上の圧力で行う気密試験に合格するものでなければならない。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問19　供給設備(特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．一つの供給設備により二つ以上の消費設備に液化石油ガスを供給する場合は、ガスメーターの入口側の供給管に、ガス栓を設けなければならない。

ロ．貯蔵能力が 1000 キログラム未満である貯蔵設備の充てん容器及び残ガス容器は、ガスが漏えいしたとき滞留しないような措置を講じた場合、常に温度 40 度以下に保つ必要はない。

ハ．バルブ、集合装置、気化装置及び供給管のうち、漏えい試験に合格するものでなければならないのは、バルブ、集合装置及び供給管である。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問20　消費設備(質量により液化石油ガスを販売する場合におけるものを除く。)の技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．自然排気式のガスふろがま(屋内に設置するものに限り、密閉式のものを除く。)の排気筒(排気扇が接続されているものを除く。)の有効断面積は、そのガスふろがまの排気部との接続部の有効断面積より小さくなければならない。

ロ．屋内に設置されている密閉式ガスふろがまの給排気部の先端は、障害物又は外気の流れによって給排気が妨げられない位置でなければならない。

ハ．消費設備が生活の用に供する液化石油ガスに係るものである場合、ガスメーターと燃焼器の間の配管その他の設備がその燃焼器の入口において保持しなければならない液化石油ガスの圧力範囲の最高値は、3.5 キロパスカルである。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ